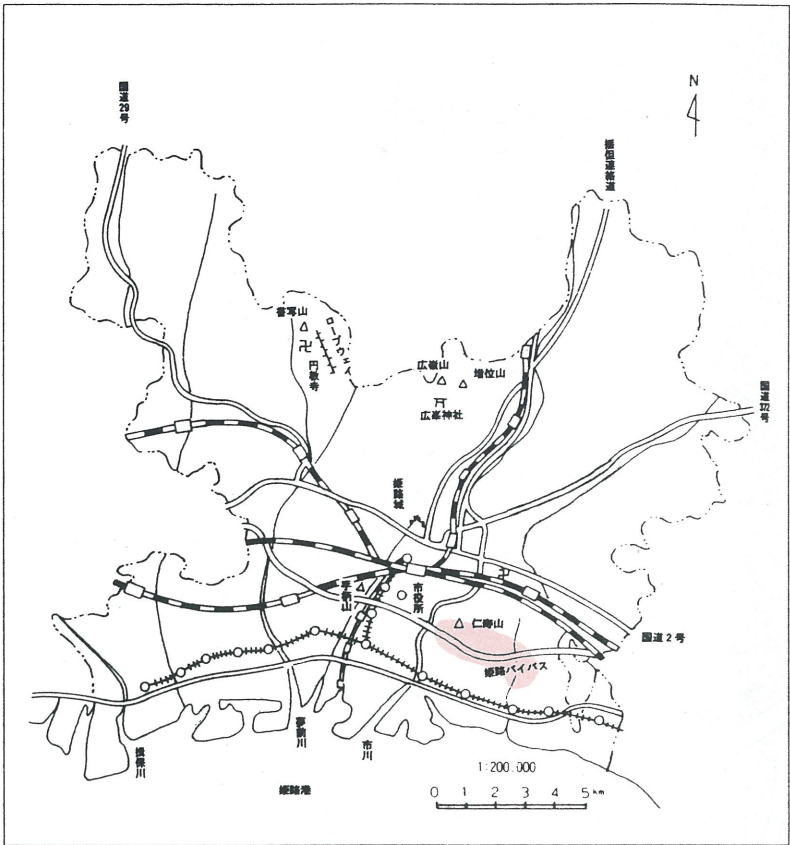


文化財をたずねて 糸引校区めぐり



交通案内

姫路駅より市営バス 東山・白浜海岸・福泊行き等、兼田下車

コース案内

- 兼田バス停(二〇m)―石棺仏(三五〇m)―河合家墓所(三五〇m)―兼田大塚古墳(四〇〇m)―地藏石仏(西山地藏尊)(六〇〇m)―松原井(二二〇m)―大塚古墳(三〇〇m)―仁寿山巖(三〇〇m)―麻生神社(四五〇m)―道標(五〇〇m)―糸引村道路元標(二八〇m)―海久寺(二五〇m)―東山焼窯跡(四〇〇m)―再幸寺(三〇〇m)―東山固窰倉(三二〇m)―山電八家駅
- ※文化財の見学はマナーを守りましょう。
- ※再幸寺襖絵は公開していないので、事前に見学許可をとりましょう。
- ※麻生山への登山は岩場などがあるので気をつけましょう。

表紙写真

麻生山頂から奥山地区を望む

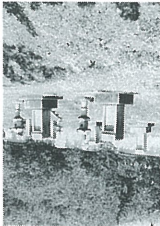
平成10年2月2日 姫路市教育委員会 発行
姫路市文化財保護協会

兼田大塚古墳

この古墳は、西暦五世紀後半から六世紀前半にかけて築かれたと推定される。古墳の形状は、前方後円墳の形をとり、墳丘の周囲には埴輪が敷き詰められている。また、古墳の内部には、土師器や埴輪などの随葬品が出土している。古墳の周囲には、石造の石室が築かれており、石室の内部には、土師器や埴輪などの随葬品が出土している。

兼田石の古井

この古井は、西暦五世紀後半から六世紀前半にかけて築かれたと推定される。古井の形状は、円形の井戸の形をとり、井戸の周囲には、石造の石室が築かれており、石室の内部には、土師器や埴輪などの随葬品が出土している。



河合家墓所

この墓所は、西暦五世紀後半から六世紀前半にかけて築かれたと推定される。墓所の形状は、石造の石室の形をとり、石室の内部には、土師器や埴輪などの随葬品が出土している。

河合家の石

この石は、西暦五世紀後半から六世紀前半にかけて築かれたと推定される。石の形状は、石造の石室の形をとり、石室の内部には、土師器や埴輪などの随葬品が出土している。

麻生寺

この寺は、西暦五世紀後半から六世紀前半にかけて築かれたと推定される。寺の形状は、石造の石室の形をとり、石室の内部には、土師器や埴輪などの随葬品が出土している。

東山固窰倉

この窰倉は、西暦五世紀後半から六世紀前半にかけて築かれたと推定される。窰倉の形状は、石造の石室の形をとり、石室の内部には、土師器や埴輪などの随葬品が出土している。

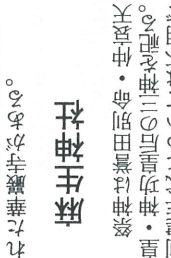
麻生神社

この神社は、西暦五世紀後半から六世紀前半にかけて築かれたと推定される。神社の形状は、石造の石室の形をとり、石室の内部には、土師器や埴輪などの随葬品が出土している。



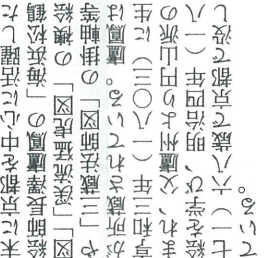
再幸寺

この寺は、西暦五世紀後半から六世紀前半にかけて築かれたと推定される。寺の形状は、石造の石室の形をとり、石室の内部には、土師器や埴輪などの随葬品が出土している。



三峯

この三峯は、西暦五世紀後半から六世紀前半にかけて築かれたと推定される。三峯の形状は、石造の石室の形をとり、石室の内部には、土師器や埴輪などの随葬品が出土している。



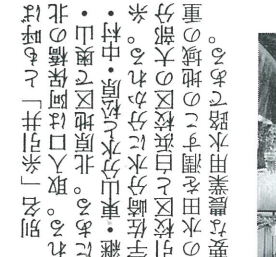
掛香寺

この寺は、西暦五世紀後半から六世紀前半にかけて築かれたと推定される。寺の形状は、石造の石室の形をとり、石室の内部には、土師器や埴輪などの随葬品が出土している。



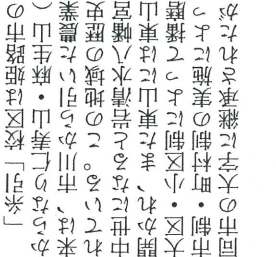
井原山固窰倉

この窰倉は、西暦五世紀後半から六世紀前半にかけて築かれたと推定される。窰倉の形状は、石造の石室の形をとり、石室の内部には、土師器や埴輪などの随葬品が出土している。



海久寺

この寺は、西暦五世紀後半から六世紀前半にかけて築かれたと推定される。寺の形状は、石造の石室の形をとり、石室の内部には、土師器や埴輪などの随葬品が出土している。



東山焼窯跡石標

文化財をたずねて
糸引校区めぐり



石棺仏



地藏石仏



仁寿山饗井戸跡



奥山大塚古墳



道標



華巖寺

